

# 静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2000. 11. 15

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（幡多小）田辺（福浜小）福井（伊島小）

田辺さんの「ものの動き」の発表について話し合い、気が付けば10時30分を過ぎていました。久しぶりに脳みそが活性化されて、家に戻っても興奮してなかなか眠れませんでした。その反動か翌日から風邪気味で気合が入らず、発表まで1週間となった総合学習の校内研修も停滞気味です。休日は閑谷学校の主催事業（座禅・そば打ち・備前焼体験など）に参加していたため、このレポートを書くのがさらに遅くなりました。記憶が薄らいで内容が大幅にもれていますがご容赦ください。

## [ものの動き] 田辺

いよいよ田辺先生の初等理科教育冬季研修会での発表準備も大詰めとなりました。今回の例会も、これがメインとなりました。パワーポイントで作成した資料をもとに実際に発表してもらいました。約25分間かかりました。福井個人の感じでは、少し盛りだくさんすぎて初めて聞く人は消化不良を起こしてしまうだろうという気がしました。きっと、実際に授業をした田辺先生には細かなところまでが見えすぎて、あれも入れたい、これも言っておきたい、とそんな感じなのだろうと思います。まさに実践した人の悩みでしょうね。また、一緒に検討してきた我々にとっても、多少こみいった内容についても分かってしまうという問題があると思います。だから、石浦先生の大所高所からの質問・助言のおかげで、随分すっきりしてきました。混沌とした研究を思い切って見直し、一番言いたいことを柱にして、まずは肉を全部切り落とし、骨格をきちんと作り直す。そういった研究の手法は真似をしていきたいなあと思いました。

## [ひねり万華鏡の内部] 倉橋

右の写真はひねり万華鏡の内部の様子です。

## [電気を通すもの・通さないもの] 福井

あいも変わらず、仮設実験授業の授業書の紹介です。この「電気を通すもの通さないもの」は、準備が簡単で、実験の結果がとてもシャープにでる授業書のひとつです。やり方は、1円玉・5円玉・10円玉・100円玉・1万円札・仁丹・アラザン・銀紙・金紙・鉄釘・空き缶などが電気を通すかどうか予想し、討論して、ブザーで実験するという繰り返しです。「5円玉は穴があいているから電気を通さないだろう」とか、「1万円札は紙でできていて、紙は木からできていて、木には雷が落ちるから」1万円札も電気を通す」といった子供らしい発想がどんどんでてきます。銀紙が電気を通すのに金紙は通さないとか、アルミ缶が電気を通さないとか、仁丹の表面が銀だとか…面白いです。

